

**製品名: DCLK2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82895**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	83.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DCLK2
別名	CL2; DCK2; CLIK2; DCDC3; CLICK2; DCDC3B; DCAMKL2; CLICK-II
遺伝子 ID	166614.0
SwissProt ID	Q8N568
免疫原	哺乳類で発現したヒト DCLK2 (AA: 652-766) の精製された組み換え断片。

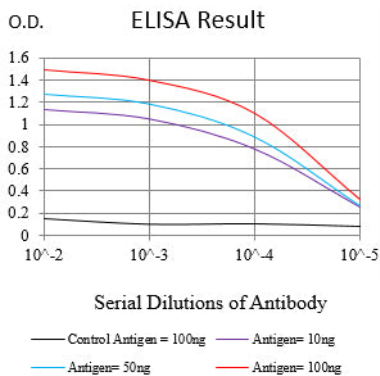
**背景**

この遺伝子は、タンパク質キナーゼスーパーファミリーおよびダブルコルチンファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、微小管に結合して微小管重合を制御する 2 つの N 末端ダブルコルチンドメイン、Ca<sup>2+</sup>/カルモ

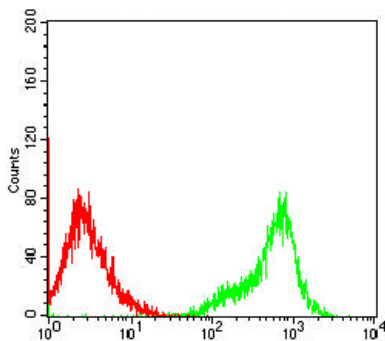
ジュリン依存性タンパク質キナーゼと高い相同性を示す C 末端セリン/スレオニンタンパク質キナーゼドメイン、そしてダブルコルチンドメインとタンパク質キナーゼドメインの間にあり、複数のタンパク質間相互作用を媒介するセリン/プロリンリッチドメインを含みます。コードされるタンパク質の微小管重合活性は、タンパク質キナーゼ活性とは独立しています。マウスを用いた研究では、DCX 遺伝子 (ファミリーの別のメンバー) とこの遺伝子は、海馬組織の確立において機能を共有しており、これらの遺伝子の欠損は、滑脳症のヒト患者で報告されているように、重篤なてんかん表現型および致死性をもたらすことが示されています。複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが同定されています。

## 研究分野

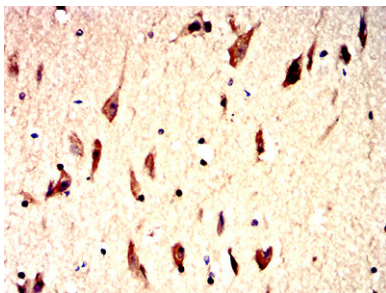
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



DCLK2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した U937 細胞のフローサイトメトリー分析。



DCLK2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。